議員カフェでいただいたご意見（一部）を紹介します

令和８年７月７日（火）に開催された議員カフェにおいて、参加された皆さまからいただいたご意見とそれに対する回答の一部をご紹介いたします。

ご　　意　　見	回　　答
議員カフェについて、「議員カフェ」という名称から気軽な対話の場を期待して参加したが、実際には相談室のような印象を受けた。もっと和気あいあいと話せる雰囲気づくりを望む。	議員カフェについては、気軽に参加していただけるような机の配置や和気あいあいと話せる雰囲気づくりとなるよう工夫してまいります。
女性の政治参画や議会構成について、政治参画の必要性を感じ参加した。美幌町議会において女性議員が少ない現状に懸念を持っている。	いただいたご意見は、議会全体で受け止めさせていただき、今後も議会として調査・研究してまいります。
議会向上推進特別委員会報告について、議会広報紙、議会モニター制度、議員の成り手対策は継続検討と先送り感が否めない。 第 20 次議会（令和 5 年）は、初めて無投票となった。将来推計人口 1.4 万人（令和 22 年）を視野に、定数削減問題を議論すべきではないか。 議員報酬は、削減と併せて若手が立候補しやすいように増額すべきと考える。	いただいたご意見は、議会全体で受け止めさせていただき、今後も議会広報紙、議会モニター制度、議員の成り手対策などについて、議会として調査・研究してまいります。

ご　　意　　見	回　　答
町内バス路線について、往路復路のマップを停留所の時刻表に合わせて表記してほしい。 お年寄りの方が反対線に乗り、目的が達成されないケースを目にした。お年寄りにやさしい看板を希望する。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 現在は、右回り、左回りは存在しませんが、一部、重複箇所はあります。看板については、路線図をバス停に掲げるのは難しいため、問い合わせをいただければ郵送で路線図を送付いたします。 【問合せ先：町民活動グループ（77-6537)】
「もーびー」は毎日 10 時から 15 時まで運行しているが、お昼休みをきちんと取ってもいいので、前後 30 分ずつ延長してほしい。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 タクシーとの利用バランスを見て、調査・検討いたします。
町の証明書等に「町のシンボル」や「ぎゅうたろう」を掲載するなど、考えてほしい。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 コンビニ交付が始まっており、全国どこでも住民票を取ることができるようになっていることから、システムの関係上、可能であるかを調査いたします。

ご　　意　　見	回　　答
災害時における個別避難計画について、対象者の把握と情報共有を望む。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 庁内において作成は完了していますが、民生委員、自治会などと、もう一度連携・共有しながら再度情報を更新しています。
他の自治体に住んでいた当時、自治会に加入していなかったが、美幌町で住宅を購入し、自治会へ加入すべきか判断に迷っている。	次のとおり、応対した議員がお答えいたします。 自治会ごとに活動内容は異なりますが、地域住民同士で顔見知りになることは、防犯・安全面で有効であり、自治会活動を通じて近隣住民と良好な関係を築けている実体験があるため、加入について前向きにご検討いただきたいです。
選挙が無投票となった場合でも、町長及び議員の選挙公報は配布し、立候補した候補の選挙公約等を町民に知らせるべきだと考える。	次のとおり、行政側に確認しました。 既に行っている自治体があり、議員が望むのであれば、選挙管理委員会で協議・検討いたします。

ご　　意　　見	回　　答
ひまわり保育園の閉園に向けた行政との打合せの進み具合が少し遅いように感じる。	次のとおり、行政側に確認しました。 閉園に向け、すでに園長とは協議を始め、閉園後の受け入れ先も進んでいます。
社協のボランティアスタッフが足りていないので、年齢を上げてほしい。	次のとおり、社会福祉協議会に確認しました。 年齢を上げることに問題はありません。
アスパラ「冬姫」の今後についての町の考え方は	次のとおり、行政側に確認を行いました。 冬にアスパラを栽培している地域は少なく、11 月にも出荷できる「冬姫」は、ふるさと納税の返礼品としても人気商品の一つであり、今後も守っていきたいと考えています。 しかし、収量が不安定で収益性の確保が難しく、燃料や資材の高騰の影響で生産者の負担が増え、厳しい状況が続いていることも認識しています。それらの状況を鑑み、みらい農業センターでは、収益性の向上に向け、酪農学園大学の協力のもと調査研究を進めています。

ご　　意　　見	回　　答
美幌町のお土産品について ・町とのコラボ商品がない ・ぽっぽ屋の商品の充実	次のとおり、行政側に確認を行いました。 町としても美幌町の特色を活かした商品開発は進めたい施策の一つであることから、特産品開発支援事業を実施しており、今後も充実を図ってまいります。 議会ではこれまでも複数の議員が一般質問や質疑で取り上げており、今後も議会として注視してまいります。
ごみの収集回数が少なく、屋外に保管場所がないため、生ごみをビニール袋などに入れて保管せざるを得ない状況。札幌市では生ごみ処理機の購入助成があり、美幌町では同様の助成制度を望む	次のとおり、行政側に確認を行いました。 電気式生ごみ処理機は、平成 17 年度～19 年度で計 234 台に購入助成を行いましたが、電気代がかかるなど様々な理由から申し込みが減少したため、制度を休止した経過があります。 議会ではこれまでも一般質問などで取り上げており、今後広域のごみ焼却施設も建設されることから、議会としても調査研究してまいります。
通学路・交通安全について 小学校近くに居住しており、自身の通勤時間と児童の登校時間帯が重なる。道路の白線（横断歩道・区画線）の摩耗や、信号機未設置箇所があり、運転時に危険を感じることがある。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 教育委員会では、学校やＰＴＡ、地域からの要望を受け、関係機関が合同点検で現地を確認し、停止線の設置や支障となる樹木の伐採などを道路管理者に要請するほか、交通安全旗の設置、学校における安全教育の推進など、児童生徒の安全な通学環境の確保に努めています。 引き続き、交通指導員や自治会ボランティア等と連携し、児童生徒の安全確保に取り組んでまいります。

質　問　内　容	回　　答
新設予定の義務教育学校において、性教育・民主教育・人権意識の醸成に関する教育内容が盛り込まれるよう、現在も関連会議に参加し働きかけを行っているが、参加者の中には抵抗感を持つ方もいる一方、これからの時代に必要な教育として賛同する声もある。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 義務教育学校開校準備委員会の専門部会（生徒指導部会）において、性教育・人権教育のカリキュラムに関する協議を進めています。 なお、「性教育」に関連した名称を含めるか否かについては、今後の社会情勢の変化を踏まえて判断する必要があり、広く共感を得られる名称やカリキュラムになるよう、慎重かつ丁寧に検討を進める考えであります。
みどりの村再整備事業について、町民説明会などを実施していないことに疑問を感じる。 また、事業内容では収益事業の収支（特にグランピング事業）が計画どおりに達成できるか不安を感じている。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 みどりの村再整備事業については、令和６年にパブリックコメントを実施し、令和７年に町民説明会を開催しており、町民の皆さまから意見をいただいております。 再整備後のみどりの村の活用については、多くの皆さまにご利用いただけるよう指定管理者と協議を進めています。 議会ではこれまでも複数の議員が一般質問や質疑で取り上げており、今後も議会として注視してまいります。
旧ごみ袋に×印をつけないと持って行かない。ごみ分別の講習会をしてほしい。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 旧ごみ袋の使用にあたっては、紙類及びその他プラ以外の資源ごみを、手数料を徴収せずに収集するための表示として、収入証紙の箇所に×印を記すことをお願いしているものです。講習会の開催は予定しておりませんが、自治会や各種団体等で「まち育出前講座」の活用をご検討いただければと考えております。

質　問　内　容	回　　答
美園自治会がなくなったので、美園団地の周りの草刈りと旧保育園をしてほしい。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 現地を確認後、必要箇所について草刈りを実施いたします。
プラごみの収集を週１回にしてほしい。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 収集回数の増は望ましいと考えておりますが、受託事業者の人員等の体制確保や委託費用の増加も伴うため難しいと考えております。 議会ではこれまでも一般質問などで取り上げており、今後広域のごみ焼却施設も建設されることから、議会としても調査研究してまいります。
明和大学卒業生で継続学習希望者に対し、年齢に関係なく生涯学習の機会を作ってもらいたい。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 学籍年限の撤廃を求める学則変更の要望があったことから、全学生へのアンケート調査を実施し、学生自治会や明和大学ＯＢ組織、教育委員会の三者で協議を重ねてきました。その結果、令和７年５月より明和大学における学習及びクラブ活動の機会を拡充し、大学修了後も継続して活動に参加できるように制度の見直しを行っています。

質　問　内　容	回　　答
・観光客に滞在してもらえるような（美幌峠から引き戻せるような）施策が必要 ・インバウンドへの配慮不足	次のとおり、行政側に確認を行いました。 美幌町観光振興革新戦略ビジョン（現在策定中）にて、策定委員からも課題に挙げられているため、課題があることは認識しており、必要な対策について現在検討を進めています。 経済教育常任委員会においても、屈斜路カルデラトレイルを活かした観光施策などを調査研究しており、今後も注視してまいります。
美幌町の街路樹の剪定のやり方はおかしい。美観を考えていない。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 街路樹の剪定作業を行う維持管理担当及び作業員に対しては、専門家による樹種毎の剪定指導を受けながら実施しておりますが、地域住民の方から落葉など苦情や要望が寄せられている状況であり、道路を往来する住民皆さまの安全確保を基本に、環境美化・景観形成に配慮した街路樹が維持されるよう、地域のご理解をいただきながら取り組んでいるところです。 議会ではこれまでも複数の議員が一般質問や質疑で取り上げており、今後も議会として注視してまいります。
思春期・若者の相談先が不足している。	次のとおり、行政側に確認を行いました。 町では、美幌町子育て包括支援センター（はぐのんの）や精神保健福祉士による「こころの健康相談」により、学童・思春期の相談も随時受付しています。 また、町のホームページからメールによる相談も可能となっています。 議会としても、相談先や相談方法について、さらにわかりやすく周知するよう行政に働きかけをしてまいります。